

10月の休園日：2日(月)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)

今月のイベント

スザッチ



10月7日(土)

【須崎市動物園「愛」ZOOフェスティバル

～動物を愛する著名人が須崎市動物園にやってくる～】

長野県住みます芸人の ゆでたかのさんと

ピアニタレントの まなまるさんがやってきます！！

10月21日(土)～29日(日)

【秋の臥竜公園写生大会入賞作品展】

場所：旧上高井郡役所

10月28日(土)、29日(日)

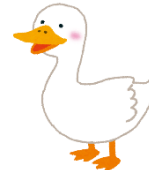
【秋の動物園まつり～ハロウィンZOO～】

イベントの詳細については

ホームページをみてね！



目指せ！セルフ体重測定！



当園のコールダックたちは、月に1度、健康管理のために体重測定をおこなっています。現在の体重測定の方法は1羽ずつ捕まえ、体重計に乗せるというものです。しかし、動物のストレスを考えると人間が捕まえるという行為は、あまり好ましくありません。そのため、今年はコールダックたちに自分で体重計の上に乗ってもらう。題して『セルフ体重測定！』ができればいいなと考えています。

しかし、自分で体重計に乗ってもらうことはそう簡単なことではありません。体重計に乗ってもらうことはもちろん、その上で数秒じっとしてもらうということは非常に難しいことです。

今年生まれた5羽は生まれたばかりの時に、エサの場所を指でコンコンと叩いて「ここだよ～！」と覚えさせていたこともあり、体重計をコンコン叩くとその場所に来てくれることがあります。

このことからコールダックは学習能力があるといえます。地道にトレーニングをしていくことでできる可能性は大いにあるということなのです！

まだまだセルフ体重測定までの道のりは長くなりそうですが、これからもコールダックたちの心と体の健康のためにも、粘り強く頑張っていきたいと思います！

ぜひ応援してくださいね！



「フンボルトペンギン」と「落ち葉」



秋。それは、ペンギンたちにとって「落ち葉争奪戦」の季節。フンボルトペンギンたちには、夫婦ごとに1つの巣があります。巣には人工芝を敷いていますが、巣を大事にするペンギンにとってはもっと巣の中に敷く「巣材」がほしいのです。

住人が留守にしている巣を狙って日常的に人工芝の強奪が行われていますが、秋は落ち葉が手に入る時期。ペンギン舎に舞ってくる落ち葉はペンギンたちにとって巣材にぴったりな代物です。

たくさんある落ち葉からお気に入りの1枚を数羽で取り合ったり、水に浮いた落ち葉を取ろうとして池に落ちたり、お互いの巣から落ち葉を強奪したりと、1日中見ていられます。

見ている人間からしたらかわいくて面白いですが、ペンギンたちは真剣そのもの。そんなフンボルトペンギンのあたり前な日常を覗いてみると、楽しいですよ。

フンボルトペンギン担当 笹島優里華



大事なアシのはなし

動物園で働く飼育員や獣医師など、動物にかかわる仕事をしている人たちは一般の方があまり見ないものによく注目しています。仕事の日毎日それを見ますし、反対にそれを見ることができないと少し不安に感じてしまうこともあります。なんだかわかるでしょうか？・・・そう、動物のウンチです。

言葉を話すことができない動物にとって、ウンチの状態というのはとても大切なものです。体調が悪いことを隠すことが多い動物でもウンチは素直なことも多いのです。

先日、飼育しているウサギの1羽がほとんどウンチをしていない日がありました。ウサギはたくさんの草を食べてたくさんのウンチをする動物です。おなかの調子が悪いとウンチの数が減ったり、ウンチが小さくなることあるのですが、今回はほとんど1個も出ておらず、食欲もありません。すぐにお腹の動きをよくする薬の投薬や点滴を行い、少しずつ流動食を食べさせました。治療のかいあって、翌日から少しずつエサを食べ始め、2日後には元気な状態に回復してくれてほっと一安心。

ウンチと聞くとなんとなく汚いものに思えて嫌なイメージもありますが、健康にとって大事なもの。今日も飼育員たちはウンチを観察しています。



獣医師 笹田和樹



HPも
チェックしてね！



須坂市動物園／臥竜公園管理事務所

TEL 026-245-1770 Fax: 026-248-1793